

「京都府文化力による京都活性化推進条例」改正及び

「京都こころの文化・未来創造ビジョン」改定に係る

# 参考資料

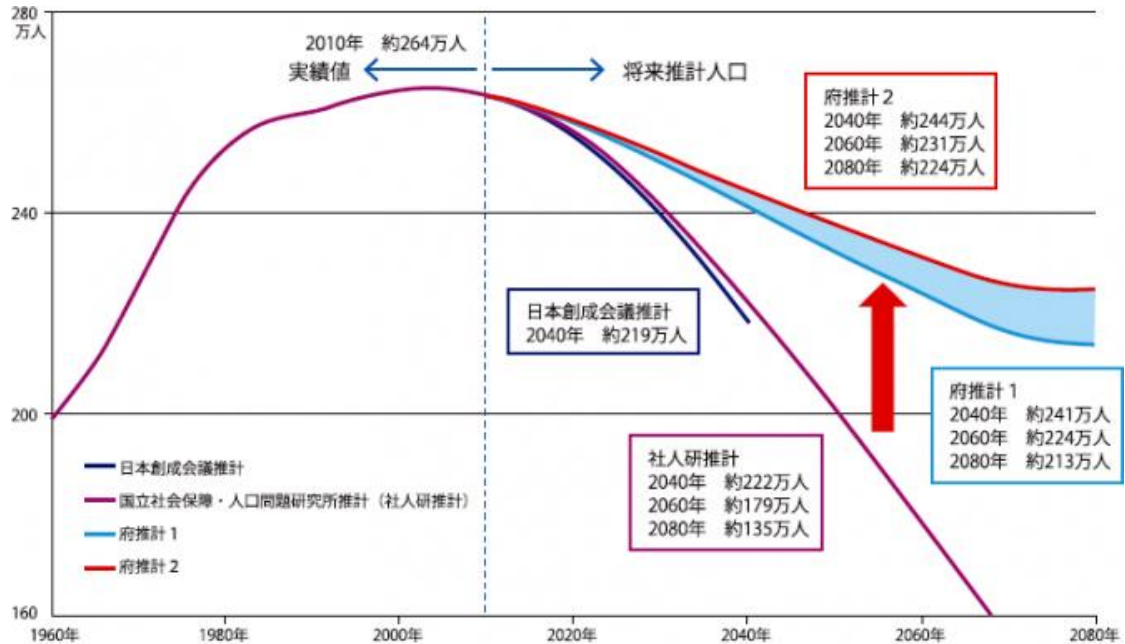
平成30年1月

京都府文化スポーツ部

## ■文化を担う人づくり

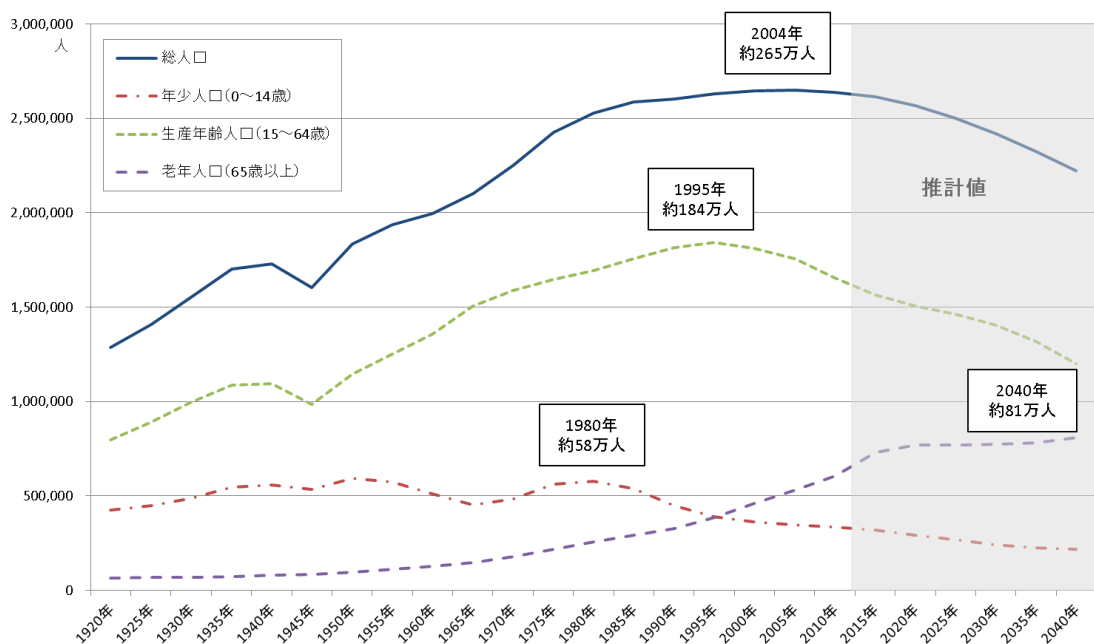
### 資料1 京都府の人口の推移（京都府人口ビジョン）

- ・府の総人口は、2004年の約265万人をピークに減少



### 資料2 京都府の年齢3区分別の人口の推移（京都府人口ビジョン）

- ・年少人口、生産年齢人口が減少する一方、老年人口が増加の一途
- ・特に北部地域では、2005年から2015年までに若年者人口（15歳未満）が約9千人減少する一方で、高齢者人口（65歳以上）は約1万人増加し、高齢化率は6%増加（ $\textcircled{17}26\% \rightarrow \textcircled{20}32\%$ ）



### 資料3 京都市への人口集中（京都府人口ビジョン）

- ・府の総人口のうち半数以上（約 56%）を京都市が占め、地域間格差がある

京都府の人口・合計特殊出生率

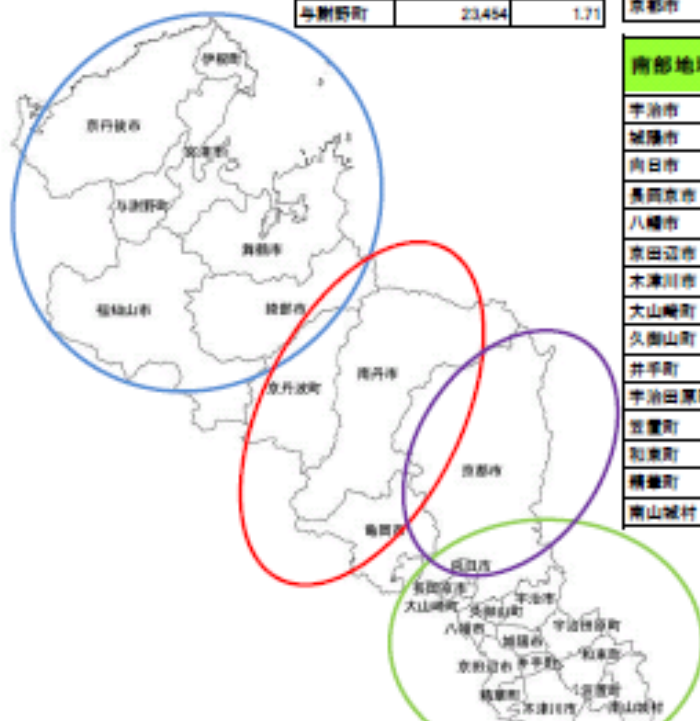
京都府 2010 年人口 (人)	合計特殊 出生率
2,636,092	1.24

北部地域	2010年人口 (人)	合計特殊 出生率
福知山市	79,652	1.96
舞鶴市	68,669	1.87
綾部市	38,836	1.83
宮津市	19,948	1.89
京丹波市	59,038	1.79
伊根町	2,410	1.81
与野野町	23,454	1.71

中部地域	2010年人口 (人)	合計特殊 出生率
亀岡市	82,366	1.32
南丹市	38,214	1.38
京丹波町	15,732	1.40

京都市域	2010年人口 (人)	合計特殊 出生率
京都市	1,474,015	1.16

南部地域	2010年人口 (人)	合計特殊 出生率
宇治市	188,608	1.35
城陽市	80,037	1.27
向日市	54,326	1.37
長岡京市	79,344	1.38
八幡市	74,227	1.37
京田辺市	87,810	1.35
木津川市	69,761	1.54
大山崎町	15,121	1.38
久御山町	15,814	1.47
井手町	8,447	1.33
宇治田原町	9,711	1.38
笠置町	1,628	1.08
和束町	4,482	1.18
横溝町	35,630	1.33
南山城村	3,078	1.05



出典：  
 【人口】総務省「国勢調査」  
 【出生率・府】厚生労働省「平成25年人口動態統計月報年計（概数）」  
 【出生率・市町村】厚生労働省「平成20年～平成24年人口動態保障費・市区町村別統計」

### 資料4 市町村の文化協会等の状況（京都府「市町村文化行政状況調査」）

- ・市町村の文化協会加盟団体数や総会員数は年々減少している

◎京都市を除く各市町村文化協会等の加盟団体数

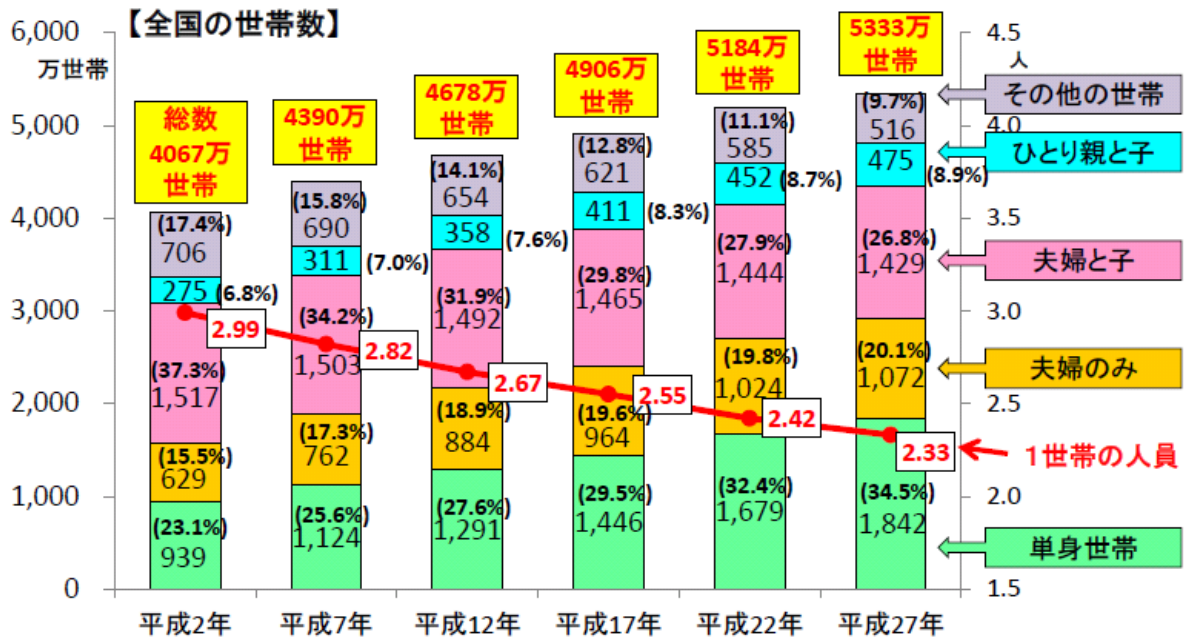
1,626 団体（2012 年） → 1,402 団体（2017 年） ▲224 団体/5 年

◎京都市を除く各市町村文化協会等の総会員数

28,304 人（2012 年） → 23,420 人（2017 年） ▲4,884 人/5 年

**資料5 全国の世帯数**（総務省「国勢調査」）

・人口が減少する一方、世帯数は増加しており、特に単身世帯が増加



出典：総務省「国勢調査」。その他世帯には類型不詳の世帯を含む。1世帯の人員は社会福祉施設等に住む世帯を除いた世帯の平均  
 ※ 表示単位未満は四捨五入のため内訳と合計が合わない年がある

**資料6 京都府指定・登録無形民俗文化財の状況**（京都府教育委員会調査）

・会員の高齢化や後継者不足、経費の確保の難しさから、一部の行事は活動が休止しており、より幅広い視点で文化継承の仕組みの検討が求められる。

◎京都府指定・登録無形民俗文化財の状況

- ・指定・登録件数 89 件
- ・うち休止している件数 6 件  
 (休止理由)
  - ・保存会員の高齢化
  - ・少子化・後継者・地元出身者の減少による意識の希薄化
  - ・楽器、道具、衣裳の維持、修繕、更新費用の確保の難しさ など

### 資料7 京都府関係の芸術系大学の状況（京都府文化芸術振興課調べ）

- ・京都には多くの芸術系大学があり約4,000人が毎年卒業しており、文化芸術による地域づくりや産業振興を担う人材が豊富である。

	学 校 名	卒業生	資 料
公立	京都市立芸術大学	189	27年度全在籍から1回生あたりの人数割りだし／音科含まず
私立	成安造形大学※	174	26年度実績
	京都精華大学	673	26年度全在籍から1回生あたりの人数割りだし、音楽と人文含まず
	京都造形芸術大学	876	27年度全在籍から1回生あたりの人数割りだし
	京都造形芸術大学 (通信)	1656	27年度全在籍から1回生あたりの人数割りだし
	京都嵯峨芸術大学	304	24年度全在籍から1回生あたりの人数割りだし
	大阪成蹊大学芸術 学部	177	26年度入学実績
	京都美術工芸大学	45	建築除く／2016学生募集より
	計	4094	

※成安造形大学は所在地大津市であるが、学生の発表の拠点が主に京都

※大阪成蹊大学芸術学部は長年所在地を長岡京市においた成安造形短期大学が、2003年に改組。長岡京市との取組を継続中

### 資料8 芸術系大学卒業生の進路の状況（京都市立芸術大学の例）

- ・卒業生は、伝統産業をはじめ幅広い企業等で活躍しているが、芸術活動の継続していくためには活動の場や資金の確保など困難も多く、支援が必要。
- ・大学卒業後、芸術活動を継続している人は約6%。大学院修了後は約27%に止まっている。

◎卒業・修了生等の進路について（平成28年度 京都市立芸術大学）

	学生数	活動	進学	就職	その他・ 進路未定
学 部 (美術)	131	8 (6.1%)	37 (28.2%)	59 (45.0%)	27 (20.6%)
修士課程 (美術)	63	17 (27.0%)	2 (3.2%)	28 (44.4%)	16 (25.4%)

### 資料9 伝統産業の職人の状況

- ・伝統産業を支える職人は年々減少し、西陣織の職人数はピークの1／9まで減少  
◎和装産業に係る従業員数等の推移

	西陣織従業員数		丹後織物工業組合員数	
	人	%	軒	%
ピーク時 (昭和50年)	22,722	100.0%	10,054	100.0%
H17	4,402	19.4%	2,216	22.0%
H20	3,815	16.8%	1,554	15.5%
H23	3,126	13.8%	1,201	11.9%
<b>H26</b>	<b>2,674</b>	<b>11.8%</b>	977	9.7%
<b>H28</b>	—	—	<b>848</b>	<b>8.4%</b>

### 資料10 文化の知恵袋委員会による次世代育成の推進

- ・文化の知恵袋委員会により、学校や地域の文化会館等における次世代の文化体験を年々拡充

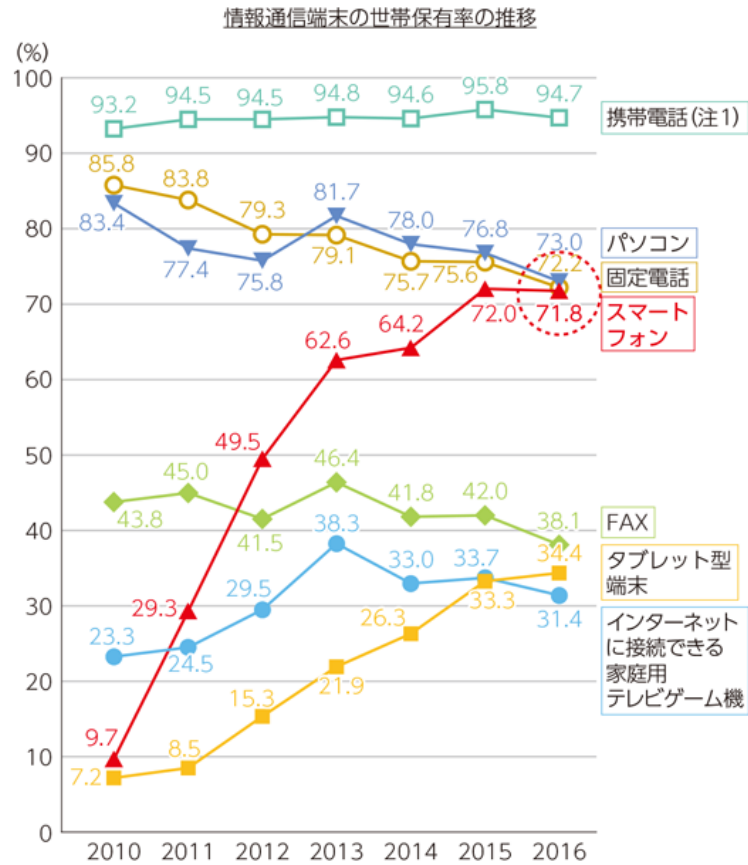
◎学校や地域の文化会館等における次世代文化体験

延べ369件 (H25～29) (H25)51件→(H29)94件

## ■多様な文化創造

### 資料 11 情報通信端末の世帯保有率の推移（総務省「平成29年版 情報通信白書」）

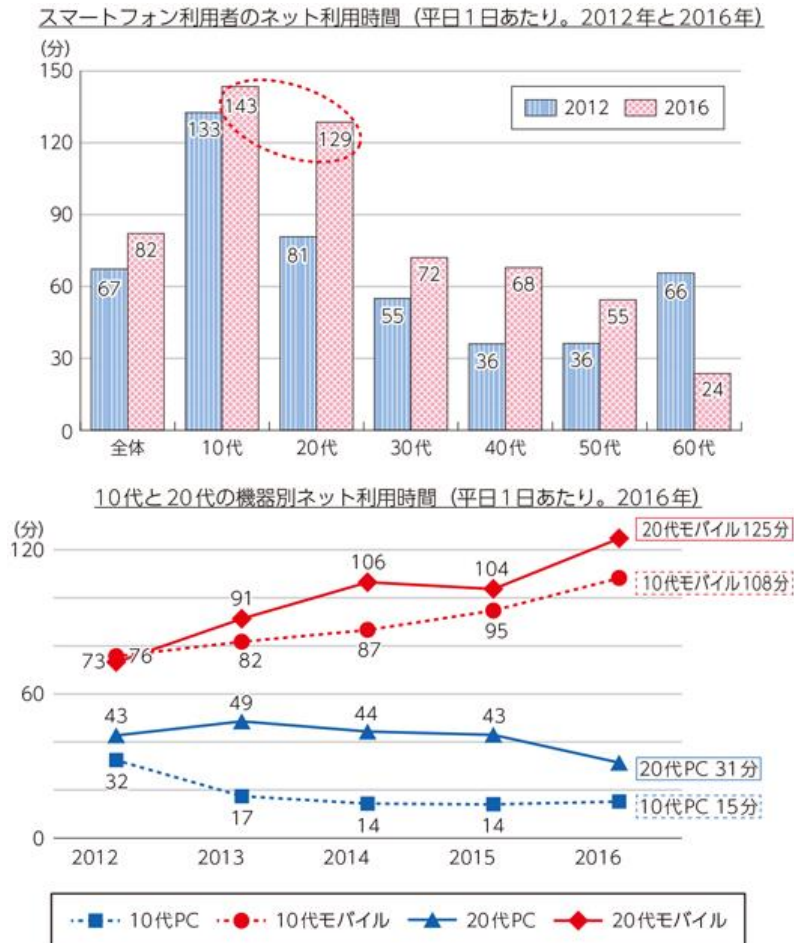
- ・スマートフォンなどの情報通信機器が急速に普及



スマートフォンの特徴として、1人が1台持つ情報端末であることが挙げられ、世帯単位での保有よりも個人単位での保有に着目することが適切である場合も考えられるが、ここでは、他の情報通信機器との比較のため、世帯単位での保有率を掲載している。個人保有率は白書本文参照。

**資料 12 情報通信端末の世帯保有率の推移**（総務省「平成 29 年版 情報通信白書」）

- ・特に 10 代、20 代の若者ではネット利用時間が長い。



**資料 13 出版物の状況**（公益社団法人全国出版協会）

- ・平成 29 年の出版市場は前年比 4.2%減の 1 兆 5,916 億円。うち紙出版が 6.9%減少に対し、電子出版は 16.0%増加。電子書籍は点数、販売金額とも上昇。

◎紙出版物の推定販売金額 1 兆 3,701 億円（前年比 6.9%減）

13 年連続のマイナス

- ・書籍 7,152 億円（同 3.0%減）
- ・雑誌 6,548 億円（同 10.8%減）うちコミック単行本 約 13%減

◎電子出版の推定販売金額 2,215 億円（前年比 16.0%増）

- ・電子コミック 1,711 億円（同 17.2%増）
- ・電子書籍 290 億円（同 12.4%増）
- ・電子雑誌 214 億円（同 12.0%増）



◎紙出版と電子出版（億円）

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
紙出版	15,220	14,709	13,701
電子出版	1,502	1,909	2,215

**資料 14 音楽メディアの状況**（一般社団法人日本レコード協会）

- ・オーディオレコード（CD（アルバム・シングル）、レコード、カセットテープ）の生産は平成 24 年以降減少。

◎CD の生産

	平成 24 年	平成 27 年	平成 29 年
生産数量（千枚）	215,451	167,839	152,294
生産金額（百万円）	224,631	180,110	170,653
邦 盤	190,377	157,527	153,034
割 合	15%	13%	10%

◎主な音楽聴取手段（上位の 5 つ）

- ・YouTube 42.7%
- ・音楽 CD 38.4%
- ・音楽 CD から PC・スマホ等にコピーした楽曲ファイル 27.0%
- ・テレビ（有料・無料の BS 放送含む） 24.0%
- ・AM・FM ラジオ 21.6%

**資料 15 映画の状況**（一般社団法人日本映画製作者連盟）

- ・映画産業規模は年毎の上下はあるものの上昇傾向にある。

◎映画産業の規模

	平成 24 年	平成 27 年	平成 29 年
スクリーン	3,290	3,437	3,525
邦画公開本数（本）	554	581	594
入場者（千人）	155,159	166,630	174,483
興行収入（百万円）	195,190	217,119	228,572
邦 画	128,181	120,367	125,483
割 合	65.7%	55.4%	54.9%

◎平成 29 年スクリーン数

- 全国 3,525（10 万人に対し 2.8）
- 京都 78（同 3.0）
- 大阪 224（同 2.5）
- 兵庫 121（同 2.2）
- 滋賀 38（同 2.7）

## ■共生

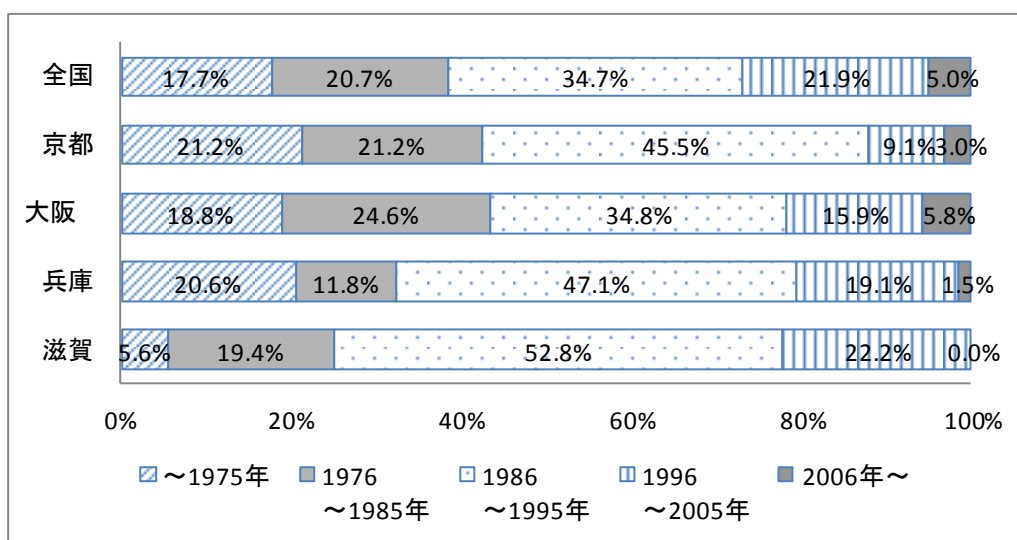
### 資料 16 劇場・音楽堂等の数（文部科学省「社会教育調査」）

- ・京都府内では、建設後 30 年以上経過する施設が全体の 4 割を越え、耐震不足で休館する施設も見られる。

建築年別 劇場・音楽堂等数 <調査時：2015 年 10 月 1 日現在>

建築年	劇場・音楽堂等数	～1975 年	1976 ～1985 年	1986 ～1995 年	1996 ～2005 年	2006 年～
全国	1849	328	382	641	405	93
京都	33	7	7	15	3	1
大阪	69	13	17	24	11	4
兵庫	68	14	8	32	13	1
滋賀	36	2	7	19	8	0

◎建築年別 劇場・音楽堂数の割合



## ■地域づくり、活用

### 資料 17 文化資源を活用したイベント等の経済効果（京都府推計）

- ・古典などの文化資源を活用したイベント等が大きな経済効果

◎源氏物語千年紀事業（平成 20 年）

全国で 3,777 件の事業、参加者数 1,030 万人、経済効果推計 1,087 億円

◎琳派 400 年記念事業（平成 26 年～27 年）

観客 155 万人、経済効果 127 億円

◎京都国際現代芸術祭 2015・パラソフィア（平成 25～27 年）

観客 27 万人、経済効果 39 億円

### 資料 18 もうひとつの京都の取組の経済効果（京都府調べ）

・広域的に地域資源を活かしたもうひとつの京都の取組が大きな経済効果

◎「海の京都」

観光入込客数 872 万人（2013 年）→ 1005 万人（2016 年）

観光消費額 215 億円（2013 年）→ 249 億円（2016 年）

◎「森の京都」

観光入込客数 741 万人（2013 年）→ 991 万人（2016 年）

観光消費額 126 億円（2013 年）→ 164 億円（2016 年）

◎「お茶の京都」

観光入込客数 963 万人（2013 年）→ 1167 万人（2016 年）

観光消費額 134 億円（2013 年）→ 193 億円（2016 年）

◎「竹の里・乙訓」

観光入込客数 190 万人（2013 年）→ 216 万人（2016 年）

観光消費額 7 億円（2013 年）→ 8 億円（2016 年）

### 資料 19 アート市場の規模

・日本のアート市場規模は約 2,400 億円（※1）と推計されているが、世界の市場規模約 5 兆円（※2）に比べて大変小規模に止まっており、大きな発展の可能性がある。

※1 一般社団法人アート東京「日本のアート産業に関する市場レポート 2016」より

※2 TEFAF「ART MARKET REPORT 2017」より

### 資料 20 伝統産業の市場規模（産地組合調べ）

・伝統産業の市場規模は年々縮小し、西陣織の生産量は最盛期の 1/15 まで減少しているが、近年は新たな需要創出で生産額の持ち直しの傾向も生まれている。

◎和装産業に係る生産数量の推移

	西陣織 帯地		京友禅・京小紋		丹後ちりめん 白生地	
	本	%	反	%	反	%
ピーク時	7,332,867	100.0%	16,524,684	100.0%	9,196,894	100.0%
	(昭和50年)		(昭和46年)		(昭和48年)	
H24	645,679	8.8%	446,636	2.7%	451,503	4.9%
H25	636,454	8.7%	428,398	2.6%	433,451	4.7%
H26	577,085	7.9%	422,314	2.6%	400,192	4.4%
H27	526,417	7.2%	413,527	2.5%	351,309	3.8%
H28	488,144	6.7%	375,388	2.3%	310,271	3.4%

## 資料 21 国民文化祭を通じた地域文化活動の活性化

- ・平成 23 年度に開催した国民文化祭を契機として、地域における文化活動が活性化。市町村や住民等の主体による様々な文化事業を府が積極的に支援。

◎文化芸術・振興発信事業、文化力チャレンジ事業による支援件数  
延べ 513 件 (H24～29)

## 資料 22 京都府内の文化財登録数

- ・京都府内には、国宝は 232 件 (全国 1,101 件の 21.1%)、重要文化財は 2,170 件 (全国 13,119 件の 16.5%) が存在し、どちらも全国で 2 番目に多い。

■国指定・登録文化財件数一覧 (平成29年6月1日現在)

種別	有形文化財									無形文化財	民俗文化財		記念物		指定登録小計	伝統的建造物保存地区	選定保存技術	文化的景観	合計			
	建造物	美術工芸品									有形	無形	特別史跡名勝天然記念物	天然記念物 史跡名勝								
		絵画	彫刻	工芸品	書跡・典籍	古文書	考古資料	歴史資料	小計													
全国	国宝	223	160	131	253	225	60	46	3	878	113	220	303	162	3,096	28,052	114	88	51	28,305		
	重要文化財	2,465	2,010	2,699	2,452	1,906	763	626	198	10,654											42	99
	登録	11,046	-	-	3	1	-	4	6	14											-	-
京都府	国宝	51	44	38	15	54	27	3	0	181	11	5	10	14	137	2,843	7	25	3	2,878		
	重要文化財	297	486	416	184	456	282	27	22	1,873											3	1
	登録	504	-	-	1	-	-	-	1	2											-	-

(注) ・重要文化財の件数は国宝の件数を含む。  
 ・重要無形文化財保持者及び選定保存技術については、重複認定を計上した実人数及び実団体数で示す。  
 ・史跡名勝特別記念物の件数は特別史跡名勝天然記念物の件数を含む。

## 資料 23 京都府暫定登録文化財制度

- ・京都府では貴重な文化財の早期保護を図るため、平成 29 年 4 月から「暫定登録文化財」の制度を創設し、文化財保護の裾野を広げ、修復・保存・防災等のための補助を行っている。

◎登録件数 (平成 29 年 11 月 15 日現在) 740 件

## 資料 24 ふるさと納税を活用した文化財保護

- ・「ふるさと納税」制度を利用し、府内に所在する歴史的建造物の保存、修理や防災対策など「文化財保護」にその用途を限定する全国で唯一の基金を設置

◎文化財を守り伝える京都府基金

寄附実績 1 億 6,179 万円 (H29.8 末現在)

基金による支援実績 延べ 177 件、1 億 4,000 万円 (H28 まで)

## ■発信

### 資料 25 訪日外国人客数の推移

- ・訪日外国人は近年急増し、2012年から2017年までの5年間に、訪日外国人客数は約3.4倍、旅行消費額は約4.1倍に拡大している。

◎訪日外国人客数及び旅行消費額（JNTO日本政府観光局）

	訪日外国人客数	旅行消費額
(2012年)	835万人	1兆846億円
(2014年)	1,341万人	2兆278億円
(2016年)	2,403万人	3兆7,476億円
(2017年)	2.869万人<3.4倍>	4兆4,161億円<4.1倍>

◎京都府への外国人観光客の推移（京都府調べ）

外国人宿泊客数	(2012年)	86万人
	(2014年)	186万人
	(2016年)	325万人

### 資料 26 外国人留学生数の推移

- ・日本・京都で学ぶ外国人留学生は年々増加している。

## 京都府における留学生数の状況

### 1 留学生数の推移

年次	京都府	対前年比	全国	対前年比
18年(2006)	4,396		117,927	
19年(2007)	4,479	101.9%	118,498	100.5%
20年(2008)	4,805	107.3%	123,829	104.5%
21年(2009)	5,157	107.3%	132,720	107.2%
22年(2010)	5,600	108.6%	141,774	106.8%
23年(2011)	6,032	107.7%	138,075	97.4%
24年(2012)	6,720	111.4%	137,756	99.8%
25年(2013)	7,071	105.2%	135,519	98.4%
26年(2014)	7,238	102.4%	139,185	102.7%
27年(2015)	7,398	102.2%	152,062	109.3%
28年(2016)	8,011	108.3%	171,122	112.5%

※ 京都府:留学生スタディ京都ネットワーク調査(各年5月1日現在) 専修学校等含まず(②)以前は京都地域留学生交流推進協議会調査)

※ 全国:独立行政法人 日本学生支援機構 調べ(各年5月1日現在) 専修学校等含む

## 資料 27 東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化発信

- ・2020 東京オリンピック・パラリンピックに向け、地域の文化イベントの発信を拡大し、beyond2020 プログラムの登録件数は全国第3位
- ◎beyond2020 プログラムの登録件数 延べ 135 件 (H30. 1. 19 現在)

## ■全般

## 資料 28 文化芸術に対する府民（国民）の意識・行動

◎文化芸術活動に取り組んでいる人の割合、文化芸術活動に参加する時間

- ・2011 年から 2016 年にかけて、美術鑑賞、演芸・演劇・舞踊鑑賞、映画館での映画鑑賞などを楽しむ人が増加している。
- ・邦楽や茶道などの伝統文化に取り組む人も増加傾向にある。
- ・趣味・娯楽の行動者率（総数） 84.9%（2011 年）→ 88.3%（2016 年）  
（スポーツ鑑賞等を含む）

【趣味・娯楽において、文化芸術活動に取り組んでいる人の割合、参加する時間】

鑑賞活動関連	行動者率(%)			平均行動日数(日/年)		
	2011 年	2016 年	【参考】全国 2016 年	2011 年	2016 年	【参考】全国 2016 年
美術鑑賞	20.1	23.9	19.4	7.3	8.5	6.8
演芸・演劇・舞踊鑑賞	14.6	17.0	14.5	5.0	6.4	7.3
映画館での映画鑑賞	36.4	41.2	39.6	7.3	6.6	6.0
音楽会などによる クラシック音楽鑑賞	9.9	10.6	10.1	5.1	8.4	7.7
音楽会などによるポピュラー 音楽・歌謡曲鑑賞	12.8	15.2	13.7	6.7	11.3	9.7

鑑賞活動以外	行動者率(%)			平均行動日数(日/年)		
	2011 年	2016 年	【参考】全国 2016 年	2011 年	2016 年	【参考】全国 2016 年
楽器の演奏	9.9	12.4	10.9	72.7	85.4	66.3
邦楽(民謡、日本古来の 音楽を含む)	1.8	3.4	2.9	66.1	68.0	74.8
コーラス・声楽	3.5	3.8	2.8	45.6	41.6	45.2
邦舞・おどり	1.3	1.4	1.6	58.7	42.1	39.4

洋舞・社交ダンス	1.6	1.4	1.4	71.9	69.2	7.0
書道	4.2	4.7	4.1	42.3	40.3	35.7
華道	2.8	2.8	1.8	30.3	24.6	23.0
茶道	1.9	2.5	1.6	22.6	35.9	23.1
和装・洋裁	6.4	6.7	6.4	31.5	28.8	26.5
編み物・手芸	10.6	12.4	10.6	44.8	32.5	33.6
趣味としての料理・菓子作り	16.3	17.1	17.8	24.2	23.1	23.9
園芸・庭いじり・菓子作り	23.5	25.2	25.7	65.1	56.1	57.5
絵画・彫刻の制作	3.7	3.9	3.5	58.1	41.9	41.2
陶芸・工芸	2.6	2.9	2.2	20.9	22.1	22.3
詩・和歌・俳句・小説などの創作	2.6	3.1	2.5	85.9	47.7	50.2
囲碁	1.2	1.3	1.2	77.0	52.0	59.9
将棋	3.9	3.3	3.2	28.8	23.1	27.6

(出展) 総務省「社会生活基本調査」

#### 資料 29 文化芸術活動に関するボランティア

- ・スポーツ・文化・芸術・学術に関係した行動者率  
(京都府) 3.5% (2011年) → 3.9% (2016年)  
(全国) 3.5% (2011年) → 3.7% (2016年)

(出展) 総務省「社会生活基本調査」

#### 資料 30 文化振興のための条例制定、文化政策のための指針等の策定状況

- ・文化振興のための条例制定状況 (平成 28 年 10 月現在)  
(京都府内) 5 団体 / 27 団体 (18.5%)  
(全国) 139 団体 / 1765 団体 (7.9%)  
※京都府、京都市、舞鶴市、八幡市、城陽市
- ・文化政策のための指針等策定状況 (平成 28 年 10 月現在)  
(京都府内) 7 団体 / 27 団体 (25.9%)  
(全国) 264 団体 / 1765 団体 (15.0%)  
※京都府、京都市、舞鶴市、八幡市、城陽市、京田辺市、向日市

(出展) 文化庁「地方における文化行政の状況について (平成 27 年度)」